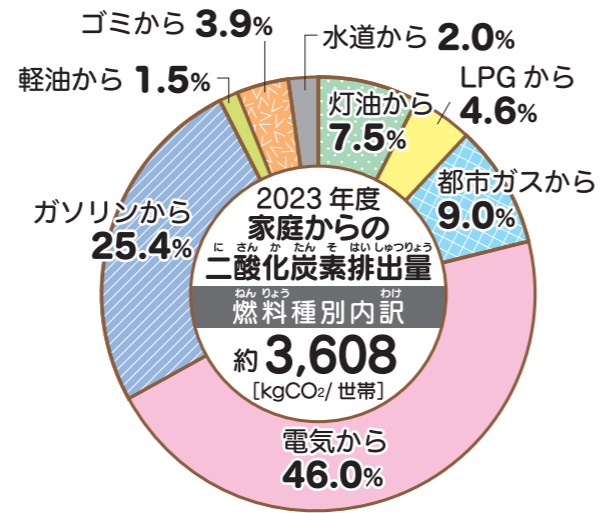


暮らしの中で排出される二酸化炭素

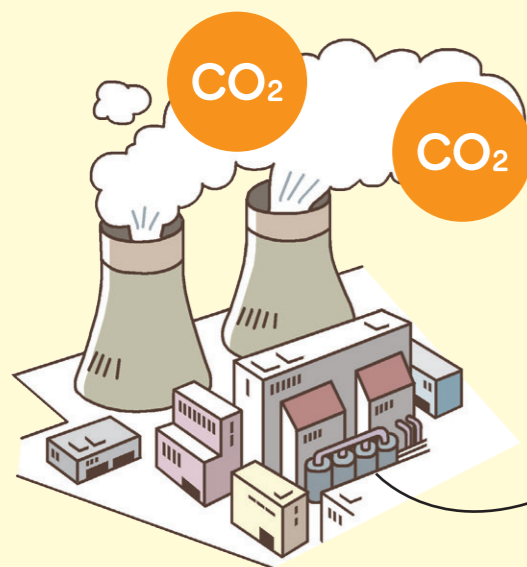
わたしたちは、毎日テレビを見たり、お風呂に入ったり、自動車に乗ったり、生活のいたるところで電気やガス、ガソリンなどのエネルギーをたくさん使っています。そのエネルギーをつかう時、つくる時に二酸化炭素は発生しています。

また、プラスチックを燃やすときにも二酸化炭素が発生しています。



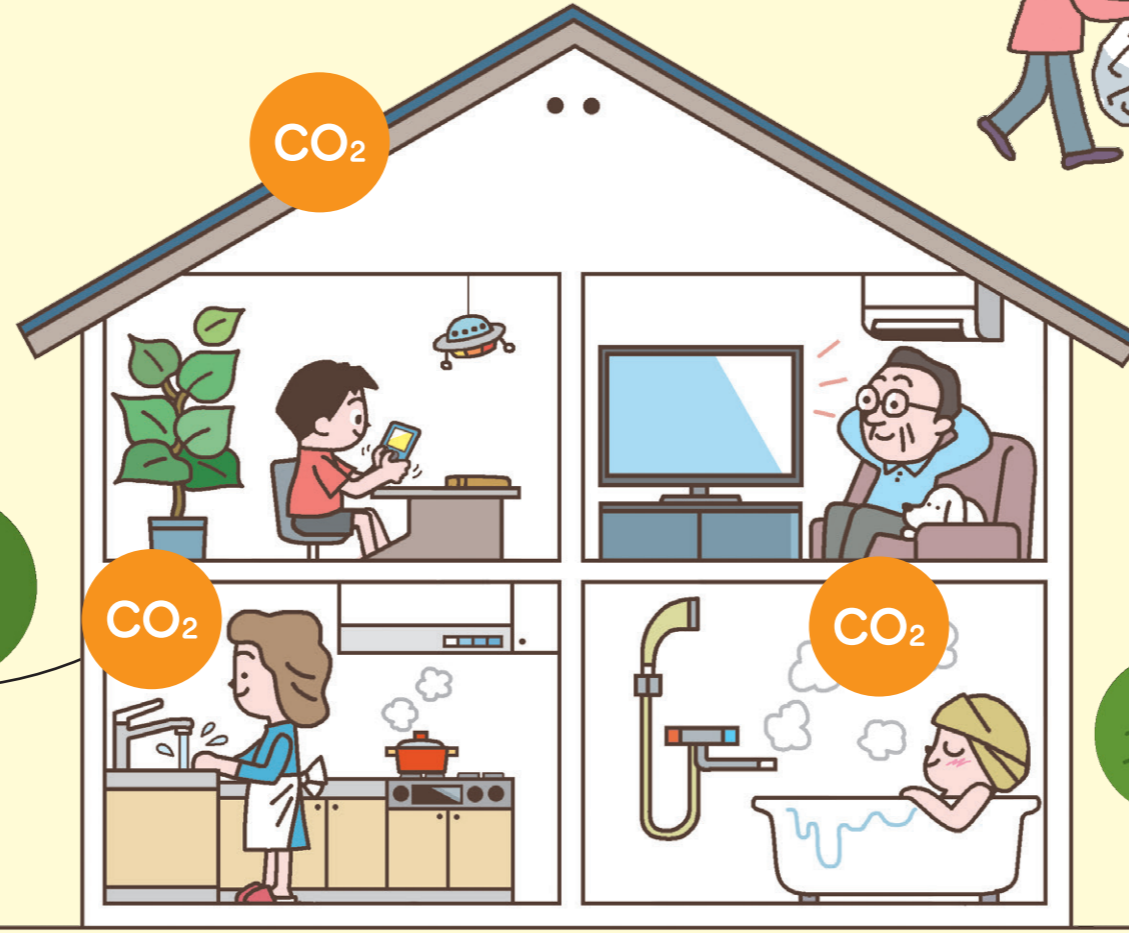
全国地球温暖化防止活動推進センター「家庭からの二酸化炭素排出量(世帯当たり、燃料種別)(2023年度)」を元に作成

わたしたちの暮らしの中で、
どんなところから
二酸化炭素が出ているのかな？



電力

石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やして発電する火力発電は多くの二酸化炭素を発生しています。私たちが家庭で電力をつかうことは二酸化炭素の排出に影響しています。

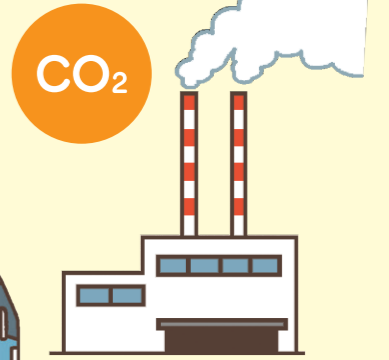


ガス

コンロや給湯器でガスを燃やすときに二酸化炭素を排出しています。

水道

台所やお風呂などのじゃ口から出てくる水は浄水場でつくられています。浄水場ではきれいな水をつくるために電力をつかっています。



プラスチック

プラスチックを燃やすときにも二酸化炭素を排出します。
※福岡市では令和9年2月からプラスチック分別を開始します→P26

自動車

ガソリンなどの燃料を燃やすことで動く自動車から出る排気ガスには二酸化炭素が含まれています。

